科目名	新聞学入門	担当者	柴田 秀一	部別	第一部	期間	前	期	単位数	2
				授業時間数	90分×1	5回		必修選択		新聞

関連するDP・CP】	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
(DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
に関する方針)	0	0					0	

#### 【授業の概要】

メディア環境が変化し、かつて受け手や情報の消費者だった立場が、SNSによって容易に送り手・発信者となれる現状がある。 その為、送り手や作る側からの視点を織り交ぜながらWeb業界や具体的な既存メディアを業界別に研究し、メディアの現状と課題を学修する。

## 【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)

Webや既存メディアの現状と課題を理解し、日本及び世界の法、政治、行政、経済、とジャーナリズム、メディアの仕組みを複合的にとらえ、 社会人として必要な社会科学の知識を修得する。

## 【履修条件】

新聞学科に在籍する者、またはメディア、コミュニケーション、ジャーナリズムに強い関心と研究心を持つ者。

#### 【授業方法】

オンデマンドで実施。教科書を概略学習に使用、映像や統計資料を適宜使用する。また、授業日毎に授業の疑問点や意見、感想などを書く 「リアクションペーパー」を提出させる。その内容を分析し、授業の理解度や、難しかった内容等を確認、再度受講生に示す。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無	無	
アクティブ・ラーニングの形態		

【到達	【到達目標】(Specific Behavioral Objectives: SBOs 個別行動目標)												
		A-1	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	A-5	挑戦丿	ל							
ルーブリック評価項目の		A-2	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	コミュニケーションカ									
	内容	A-3	論理的・批判的思考力	A-7	リーダーシップ・協働力								
		A-4	問題発見·解決力	省察力									
							るルーフ	ブリック評	<b>F価項</b> 目	目の達成	戈レベル		
	達成されるべき具体的行動 					A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	
1	マスメディアのえを理解し、説明で	メディ できる。	ア別の組織形態や成立、それぞれのメディアの特徴、 。【知識】	役割	1								
2	それぞれのメディア発達の歴史過程を理解し、その特徴を理解、説明できる。 【知識】					1							
3	メディアの成立と現在を比較対照し、現在の問題点を探る為、書物・Web等で調べることができる。【技能】					1							
4	統計資料に基づいて、グラフ、表等を正当に解釈でき、説明できる。【知識】				1								
5	映像資料を見聞き 社会常識に照らし	きし、・	その表現、事実の提示を理解し、法規範や 評価、意見表明や、考察ができる。【態度】								1		
6	文字資料を読み角 社会常識に照らし	解き、 っての	その表現、事実の提示を理解し、法規範や 評価、意見表明や、考察ができる。【態度】								1		
7	Webメディアと既 収集する意思と前	存メラ も力が。	ディアが併存する中で、情報の偏りを防ぎながら広く情 ある。【技能】	青報を							1		
8													
9													
10													

【成績評価の方法	評価の方法・基準・割合】						目標	Į				評価方法別の
成績評価方法	評価基準	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	比率(%)
試験(定期試験/授業内試験)												
小テスト等												
レポート等	中間で1回、まとめに1回提出させるレポートが、書式等の要件を満たし、課題に適切に答える内容になっているかを基準に、到達目標①~⑥にかかわる、各メディア成立と特徴の理解が身についているかを評価する。	15	12	12	12	12	12	15				90
討論·発表等												
授業への参画度	授業毎に書かせるリアクションペーパーで、参画度を評価する	1	1	1	1	1	2	3				10
その他()												
その他()												
その他()												
	到達目標別の比率(%)	16	13	13	13	13	14	18				100

# 【課題に対するフィードバックの方法】

授業中間、まとめのリポート提出について、授業内で解説を行う。また、リアクションペーパーに書かれた疑問点については、適宜授業内で 触れる。

【教科書·参考書等】											
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度						
図説 日本のメディア [新版]	藤竹 暁	NHKブックス 1196	2018	教科書	必携						
メディアと日本人	橋元良明	岩波新書1298	2011	参考書	任意						
メディア社会	佐藤卓己	岩波新書1022	2006	参考書	任意						
備考											

# 【オフィスアワー】

授業中に示すメールアドレスで随時受け付ける。対面質問も受けるが、メールで日時予約(火曜・木・土曜日の午後)が条件。

【実務経験を活かした実践的教育について】									
担当教員の実務経験の有無	有	実務経験の内容	放送局におけるニュース取材から放送までの実務について						
実務経験に基づく実践的教育の内容		て、	スで、授業日迄に流された特徴的なニュース、分かりにくいニュースについ たものに解説を加え授業冒頭で触れる。						

		住(こ) ( 及及の雇用	・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。	
回数		テーマ	内 容	
	イントロダ	クション及び導入講義	イントロダクション。メディアとは何か、今どんなメディアで情報を得ているか、メディアの入り口を示す。	ア研究
1	この回の到達目標	メディア研究の入り口を理	    理解する。到達目標①②に関連し、メディアとは何かを理解し、説明できる。	
	事 前 学 修	を列記しまとめておく。	アの諸問題について、新聞、出版、放送、広告、エンタテインメントの各業界別の問題点	150分
	事後学修	個人・社会・メディアのB 整理し、今後メディア研究	引わりについて考える。授業の内容を受け、自分の感じたことや思うことをノートに記述し Eを行うにあたっての、問題意識を身に付ける。 	90分
	現代社会と	メディアの関係	現代社会とメディアの関係 人々とメディアの関わり。現代の特徴。教科書P.13~26「本記したの為に」に沿って解説。	書を読
2	この回の到達目標	日本のメディアの盛衰につ	」 ⊃いて、到達目標 <b>①②③</b> に関して、歴史的背景を理解し、説明できる。	
	事前学修	教科書P. 13〜26「本書を読 特徴を列記しておく。	売む人の為に」を、特に戦後の日本メディアのメディア別 <u>盛衰</u> について注意して読み、その	180分
	事後学修	Webの台頭が著しいが、そ 察する。	れに対して既存メディアはどう対処しているか。また、既存メディアの必要性はどうか考	60分
	現代メディ	アの利用と環境	ケータイからスマホへ教科書第6章 ケータイからスマホヘ P. 247~273に沿ってその変遷する。	を解説
3	到達目標	②に関連し理解できる。	 専帯電話成立とインターネットの普及、更にスマートフォン中心となっていった経緯を、到達	幸目標
	争削字修	スマートフォンに変って行	に読み、何故メディアからの情報が、WEB や携帯電話からの情報に偏り始め、普及とともに 行ったかを考えながら読む。	180分
	事後学修	スマートフォンの功罪につ	ついて、具体的に列記し考察する。	60分
4	各業界新		第1章 新聞① 教科書新版P.27~に沿って日本の新聞の成立時期や、限段までの変遷を学 で、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる	
4	この回の到達目標	新聞の成立、変遷について 数私事新版P 27~ 第 1 章		 学ぶ 
4	この回の到達目標事前学修	新聞の成立、変遷について 教科書新版P.27~ 第1章 がら、事前に読んでおく。	こ、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる	学ぶ 180分
4	この回の到達目標事前学修	新聞の成立、変遷について 教科書新版P.27~ 第1章 がら、事前に読んでおく。 コンビニや、図書館で新聞	て、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる でについて、新聞の盛衰についてメディアの祖であることに留意し、現在の状況も考慮しな	学ぶ 180分 60分
4	この回の 到達目標 事前学修 事後学修 各業界 新	新聞の成立、変遷について 教科書新版P.27~ 第1章 がら、事前に読んでおく。 コンビニや、図書館で新聞 聞②	て、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる 章について、新聞の盛衰についてメディアの祖であることに留意し、現在の状況も考慮しな 間に触れ同日の紙面を複数紙読んで、同一の出来事の表現の違いをみる。	学ぶ 180分 60分 る。
	この回の 到達目標 事前学修 事後学修 各業界 新 この回の 到達目標	新聞の成立、変遷について 教科書新版P.27~ 第1章 がら、事前に読んでおく。 コンビニや、図書館で新聞 聞② 新聞は読まない人が増えた		学ぶ 180分 60分 る。
	この回の 到達目標 事前学修 各業界 の回車 事前学修	新聞の成立、変遷について 教科書新版P.27~ 第1章 がら、事前に読んでおく。 コンビニや、図書館で新聞 聞② 新聞は読まない人が増えた 当日の新聞を複数紙読んで	て、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる 更について、新聞の盛衰についてメディアの祖であることに留意し、現在の状況も考慮しな 間に触れ同日の紙面を複数紙読んで、同一の出来事の表現の違いをみる。 第1章 新聞② 教科書新版P. 27~P. 74教科書に沿って新聞業界のはじめから盛衰を解説す こという割に、メディアとしての信頼度が高いのは何故か、到達目標 <b>①②③</b> に関連し理解でき で、同一の出来事について記した記事の表現の違いを列記しておく。 ホームニュースサイトで、ニュース項目をチェックしてみる。既存メディア発のニュース を教え、Webメディアと比べる。	180分 60分 る。 90分 150分
	この回の 到達目標 事前学修 各業界 の回車 事前学修	新聞の成立、変遷について教科書新版P.27~ 第1章がら、事前に読んでおく。コンビニや、図書館で新聞望 新聞は読まない人が増えた当日の新聞を複数紙読んでインターネットのプラットがどのくらいあるか件数を	<ul> <li>こ、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる</li> <li>重について、新聞の盛衰についてメディアの祖であることに留意し、現在の状況も考慮しな 現た触れ同日の紙面を複数紙読んで、同一の出来事の表現の違いをみる。</li> <li>第1章 新聞② 教科書新版P.27~P.74教科書に沿って新聞業界のはじめから盛衰を解説す とという割に、メディアとしての信頼度が高いのは何故か、到達目標①②③に関連し理解でき に 同一の出来事について記した記事の表現の違いを列記しておく。</li> </ul>	180分   60分   60分   50分   150分
	この達 学 修 名 業 の達 学 修 の達 学 修 の達 学 修 の達 前 労 学 の 回標 第 の で の で の で の で の で の で で の で で の で で の で で の で で の で で の で	新聞の成立、変遷について教科書新版P.27~ 第1章がら、事前に読んでおく。コンビニや、図書館で新聞望の新聞は読まない人が増えた当日の新聞を複数紙読んでインターネットのプラットがどのくらいあるか件数を大衆化以前	て、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる 置について、新聞の盛衰についてメディアの祖であることに留意し、現在の状況も考慮しな 間に触れ同日の紙面を複数紙読んで、同一の出来事の表現の違いをみる。 第1章 新聞② 教科書新版P.27~P.74教科書に沿って新聞業界のはじめから盛衰を解説す こという割に、メディアとしての信頼度が高いのは何故か、到達目標 <b>①②③</b> に関連し理解でき で、同一の出来事について記した記事の表現の違いを列記しておく。 ホームニュースサイトで、ニュース項目をチェックしてみる。既存メディア発のニュース を数え、Webメディアと比べる。 映画「薔薇の名前」抜粋 上映 印刷機発明以前の中世ヨーロッパの時代、本は写本であった。本であった。知の独占状況と大衆化以前のメディアに一 学びリポートを提出する。 本は写本として流通していた。また本が所蔵されているのは中世ヨーロッパではキリスト表であった。大衆化以前のメディアについて、到達目標 <b>②②③</b> に関連し理解できる。	180分 60分 る。 90分 150分 ったついて
5	この達 学 修 新	新聞の成立、変遷について教科書新版P.27~ 第1章がら、事前に読んでおく。コンビニや、図書館で新聞望の新聞は読まない人が増えた当日の新聞を複数紙読んでインターネットのプラットがどのくらいあるか件数を大衆化以前	て、ニュースメディアの祖である新聞の生まれた理由を、到達目標①に関連し理解できる 室について、新聞の盛衰についてメディアの祖であることに留意し、現在の状況も考慮しな 間に触れ同日の紙面を複数紙読んで、同一の出来事の表現の違いをみる。 第1章 新聞② 教科書新版P.27~P.74教科書に沿って新聞業界のはじめから盛衰を解説す とという割に、メディアとしての信頼度が高いのは何故か、到達目標①②③に関連し理解でき で、同一の出来事について記した記事の表現の違いを列記しておく。 マホームニュースサイトで、ニュース項目をチェックしてみる。既存メディア発のニュースと数え、Webメディアと比べる。 映画「薔薇の名前」抜粋 上映 印刷機発明以前の中世ヨーロッパの時代、本は写本であっが、本を所蔵できるのはキリスト教会であった。知の独占状況と大衆化以前のメディアに一学びリポートを提出する。 本は写本として流通していた。また本が所蔵されているのは中世ヨーロッパではキリスト都であった。大衆化以前のメディアについて、到達目標①②③に関連し理解できる。	180分 60分 る。 90分 150分 ったついて

【授業	計画】※日程について、複数の曜日	・時限にて同授業を開講の場合は,併記を行っている。	
回数	テーマ	内 容	
	マスコミュニケーションの 成立と近代①	前回のメディア大衆化以前の状況から活版印刷」の発明、写真、映画と発展してくるメデえれが大量に伝達されていく過程を学ぶ	ィアと
7	この回の 活版印刷機の発明後、宗教 対達目標 たことを、到達目標①②③	」 な改革や政党政治等、社会状況とメディア・コミュニケーションは密接に関係しながら発達 ○④⑤に関連し理解できる。	して来
	事前字修   和かどうか等を考慮に入れ		150分
	事後学修 前回提出のリボート課題にる。	こついて、調べたことと自らの考察は、分けて書く事や、薔薇の名前の内容と比較、考察す	90分
	マスコミュにケーションの 成立と近代②	前回の世界各国でのマスコミの成立状況を受けて、アメリカと日本の新聞の日刊紙の成立とついてその過程を学ぶ。	<b>犬況</b> に
8	<b>この回の</b> マスコミの成立条件を受け <b>到達目標</b> 解できる。	- プロスティアメリカと日本の新聞の成立、ジャーナリズムの初期の姿を到達目標 <b>①②③④⑤</b> に関い	車し理
		ーナリズムとは何か、調べ、何故、センセーショナリズムが起きるか	120分
	<b>事後学修</b>	引や、雑誌、TV、webジャーナリズムは、マスコミ成立時と比べてどうか。比較考察してみ	120分
	各業界 放送① 制度・構造・歴史	テレビの放送組織、機械構造を学ぶ。教科書第2章放送 P.75~130のうちテレビの歴史かりまで。	ら現在
9	この回の テレビの発明、成立、テレ 到達目標 が普及していく経緯を社会	」 √ビ普及のエポックを学ぶ。今は普及しているPCと同じように放送開始当時は大変高価だっ7 €、時代背景と共に、到達目標 <b>①②③④⑤</b> に関連し理解できる。	たもの
	事前学修 デレビと映画との映像表示 残っている理由を考察する	ジステムの違い、普及の仕方を調べ、対抗関係にあった2つのメディアが、依然として 。	150分
	事後学修	提供史との対比が、事件をはじめ社会的出来事と共に認識できているか、○○のテレビ化、 共に考察する。	90分
	各業界 放送② WEB、動画配信と放送	テレビ、ラジオの今とインターネット、スマートフォンとの対立、融合について。また動 サービス、youtube等との関係について問題点を探る。教科書第2章 放送 P.75~130	画配信
10	<b>到達目標</b> メディアが発展してきた。 できる。	置者であったテレビが2000年前後から視聴者を減らし、Web、スマホ、定額動画配信といった今後、テレビなど放送はどうなっていくのか、現状と問題点を到達目標①②③④⑤に関連	新たなし理解
	事前学修 デレビを視聴する。ニューは、それぞれ何の為に存在	-ス、ドラマ、バラエティー、ドキュメンタリー、スポーツ中継、教育・文化・科学番組 Eするか、また、コマーシャルのある商業放送と受信料を取る公共放送の違いを理解する。	120分
	事後学修 動画配信、オンデマンド面	l信はどういうものか体験してみる(Tver、GYAOといった無料のアプリを使う)	120分
	各業界 TVニュース小史 放送③	テレビニュースの発達を、機器の発展とともに研究する。フィルムからビデオへ、地上波z星へ、アナルグからデジタルへ、インターネットとSNS。	から衛
11	<b>この回の</b> テレビニュースの発達につ <b>到達目標</b> し理解できる。	」 いて、機器の発展とともに特に速報性を中心に変わってきた状況を、到達目標 <b>①②③④⑤</b> 0	こ関連
	事前学修 現在のテレビニュースを得 タジオ原稿、フリップなと	l聴する。その際、出来るだけど、のような素材、どのような方法(中継、ビデオ構成、ス でスタジオ展開)で放送しているか注意して観る。	120分
	事後学修 テレビニュース小史を学び してみて問題点を復習する	、、改めてテレビニュースを見、デジタル新聞や動画ニュース等と比較 。	120分
	各業界 出版と広告 業界の概要	教科書P.131〜出版、P.169〜広告業の各界もWebの波に押され、広告業界は、伝統的な看板マートフォン利用の広告まで幅広い。出版は電子書籍の台頭と、特に雑誌に特化して述べ	からス る。
12	<b>この回の</b> Webの台頭が著しいが、その <b>到達目標</b> できる。	」 の流れが加速する原因と現状の出版・広告業界について状況を、到達目標 <b>①②③④⑤</b> に関連	し理解
		9~広告について、それぞれの業界の盛衰に注意しながら、現在の課題に注目し列記してお	150分
	事後学修 業界の変化が速さを増して かを考察する。	いることを知ることと、Web広告がテレビ広告を抜く可能性があり、それは何を意味する	90分

【授業	計画】※日程について、複数の曜日	・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。	
回数	テーマ	内 容	
	各業界エンタテインメント	映画、アニメ、音楽業界を中心とするエンタテインメントは、映画・音楽は2千億円産業、 は国内だけで2兆円産業といわれる。それぞれの産業の成立と今、現在の問題点を探る。	アニメ
13	到達目標   いて理解できる。 (教科書		題につ
	事前学修 映画、アニメ、音楽業界、 らかじめ読んでまとめてお	教科書P.209~245をそれぞれの業界の特徴に注意しながら盛衰と今後の課題についてあるく。	150分
	事後学修 アニメ業界が産業として大	rきく飛躍した理由や経過について具体的に調べて確かめてみる。	90分
	フェイク・ニュースとファクト チェック、SNS。	2016年のアメリカ大統領選は「フェイクニュース」という言葉を流布させ、「オルタナティファクト」を流行らせた。こうした言葉はSNSによって広がり、一方でそれを調べる「ストチェック」も立ち上がった。「フェイクニュース」と「ファクトチェック」それを結ぶ S」との関係をあきらかにする。	ファク
14	<b>この回の</b> フェイクニュースとは何か <b>到達目標</b>	・、ファクト・チェックとは何を明らかにすることか、到達目標 <b>①②③④⑤⑥</b> 関連し理解でき	きる。
	<b>事前学修</b> フェイクニュースとは何かフェイクニュースの具体的	、具体的にどういうことがあったか、フェイクニュースの特徴は何か列記して、代表的な 的な文を含めて、調べる。	140分
	事後学修 フェイクニュースに騙され 受けて更に考察する。	はいための方策や、得た情報の拡散の方法に注意を払うにはどうしたら良いか授業内容を	100分
	授業内リポート及び解説	これまでの講座でやってきた単元の選択問題を出し、リポート形式で答える。制限60分。 終了後授業内リポートについて、模範例をはじめ、書き方のポイント、分かりやすく書くこ 必要な記述などを示すことで受講生にフィードバックをする。	方法、
15	<b>この回の</b> これまでの講座でやってき <b>到達目標</b> それぞれの課題を到達目標	たた範囲の中での理解度をリポート提出で評価する。成績評価の方法・基準・割合の通り。 原①②③④⑤⑥に関連し理解でき、説明できる。	
	事前学修 リポート課題についてその	D範囲を復習し、リポートを時間内に書ききれるようにする。	180分
	事後学修 授業内リポートで書いた内	R容を検討し、書けなかった部分、足りなかった部分を補強する。	60分